

(別紙1)

1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)

年度 区分		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
		(実績)	(実績)	(見込み)				
収 入	1. 医 業 収 益 a	472	469	452	536	530	530	530
	(1) 料 金 収 入	408	404	380	470	467	467	467
	(2) そ の 他	64	65	72	66	63	63	63
	うち他会計負担金	53	54	53	53	53	53	53
	2. 医 業 外 収 益	107	108	110	99	121	126	126
	(1) 他会計負担金・補助金	93	94	97	91	90	90	90
	(2) 国 (県) 補 助 金	0	0	0	0	0	0	0
	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	12	12	11	6	29	34	34
	(4) そ の 他	2	2	2	2	2	2	2
	経 常 収 益 (A)	579	577	562	635	651	656	656
支 出	1. 医 業 費 用 b	550	534	537	602	625	629	628
	(1) 職 員 給 与 費 c	273	278	281	356	356	356	356
	(2) 材 料 費	71	71	78	76	71	71	71
	(3) 経 費	129	127	121	119	113	112	111
	(4) 減 価 償 却 費	27	27	26	20	54	59	59
	(5) そ の 他	50	31	31	31	31	31	31
	2. 医 業 外 費 用	13	14	14	14	14	14	14
	(1) 支 払 利 息	1	1	1	1	1	1	1
	(2) そ の 他	12	13	13	13	13	13	13
	経 常 費 用 (B)	563	548	551	616	639	643	642
経 常 損 益 (A)-(B) (C)	16	29	11	19	12	13	14	
特 別 損 益	1. 特 別 利 益 (D)	1	1	1	1	1	1	1
	2. 特 別 損 失 (E)	18	1	1	1	1	1	1
	特 別 損 益 (D)-(E) (F)	▲ 17	0	0	0	0	0	0
純 損 益 (C)+(F)	▲ 1	29	11	19	12	13	14	
累 積 欠 損 金 (G)	162	133	122	103	91	78	64	
不 良 債 務	流 動 資 産 (ア)	139	178	182	192	202	212	221
	流 動 負 債 (イ)	45	44	45	45	45	45	45
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入又は未発行の額(エ)	0	0	0	0	0	0	0
差引 不 良 債 務 (オ) [(イ)-(エ)] - [(ア)-(ウ)]	▲ 94	▲ 134	▲ 137	▲ 147	▲ 157	▲ 167	▲ 176	
経 常 収 支 比 率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	102.8	105.3	102.0	103.1	101.9	102.0	102.2	
不 良 債 務 比 率 $\frac{(オ)}{a} \times 100$	▲ 19.9	▲ 28.6	▲ 30.3	▲ 27.4	▲ 29.6	▲ 31.5	▲ 33.2	
医 業 収 支 比 率 $\frac{a}{b} \times 100$	85.8	87.8	84.2	89.0	84.8	84.3	84.4	
職 員 給 与 費 対 医 業 収 益 比 率 $\frac{c}{a} \times 100$	57.8	59.3	62.2	66.4	67.2	67.2	67.2	
地方財政法施行令第15条第1項 により算定した資金の不足額 (H)	▲ 94	▲ 134	▲ 137	▲ 147	▲ 157	▲ 167	▲ 176	
資 金 不 足 比 率 $\frac{(H)}{a} \times 100$	▲ 19.9	▲ 28.6	▲ 30.3	▲ 27.4	▲ 29.6	▲ 31.5	▲ 33.2	
病 床 利 用 率	88.1	86.1	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

年度		26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収 入	1. 企業債	2	5	3	17	22	4	5
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	5	6	5	9	8	13	14
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	4	2	5	17	40	6	5
	7. その他	0	0	0	0	0	0	0
	収入計 (a)	11	13	13	43	70	23	24
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c) (A)	11	13	13	43	70	23	24	
支 出	1. 建設改良費	6	8	9	44	62	10	10
	2. 企業債償還金	9	9	9	8	11	15	16
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	4	4	4	4
支出計 (B)	15	17	18	56	77	29	30	
差引不足額 (B)-(A) (C)	4	4	5	13	7	6	6	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	4	4	5	13	7	6	6
	2. 利益剰余金処分量	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0	0
計 (D)	4	4	5	13	7	6	6	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	

- 複数の病院を有する事業にあっては、合計表のほか、別途、病院ごとの計画を作成すること。
- 金額の単位は適宜変更することも可能。(例)千円単位。

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (見込み)	29年度	30年度	31年度	32年度
収益的収支	(0) 146	(0) 148	(0) 150	(0) 144	(0) 143	(0) 143	(0) 143
資本的収支	(0) 5	(0) 6	(0) 5	(0) 9	(0) 8	(0) 13	(0) 14
合計	(0) 151	(0) 154	(0) 155	(0) 153	(0) 151	(0) 156	(0) 157

(注)

- ()内はうち基準外繰入金額を記入すること。
- 「基準外繰入金」とは、「地方公営企業繰出金について」(総務副大臣通知)に基づき他会計から公営企業会計へ繰り入れられる繰入金以外の繰入金をいうものであること。